

3類型	観光資源	通巻番号	2 - 19 - 014
地域資源名	いわき湯本温泉	認定日	平成19年10月12日
地域	福島県いわき市	所管省庁	国土交通省、経済産業省

## 事業名:健康と癒しの温泉地創設事業

会社名:いわき湯本温泉旅館協同組合

所在地:いわき市常磐湯本町天王崎1-70

連絡先:TEL:0246-43-3017 FAX:

HP:http://www.iwakiyumoto.or.jp/

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・いわき湯本温泉の売上高は最盛期(平成8年)の75億円から38億円(平成18年)まで減少し将来的不安に見舞われており、新たなサービスの確立、他の温泉地との差別化が急務となっている。
- ・いわき湯本温泉では平成13年度から全国に先駆けて、温泉の保健的機能を引き出す知識・技能を持つバルネオセラピスト(温泉保養士)制度を構築しその有資格者の養成に取り組んでいる。
- ・このバルネオセラピストを差別化を図るための核とし、健康増進と癒しを中心としたリピート型短期滞在をコンセプトとして展開を図る。



バルネオセラピスト・マーク

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### 競争力

- ・バルネオセラピストが中心となり、健康増進、癒し、健康食、各種エクササイズ、観光までも含めた「バルネオプログラム」を開発する。この他、温泉とフラダンスを組み合わせた健康促進プログラム、地域の食材を活かした「医食同源の理念を取り入れた地産地消の薬膳料理」メニューの開発などを行う。

#### 市場性

- ・高齢化の進展、行動スタイルの小グループ化が進む中において、健康嗜好、癒し嗜好の利用客の増大及び小旅行ニーズ増大と多様化に対応した設定としている。

#### 販路

- ・首都圏及び近隣県の対象年齢層を50歳から75歳と設定し、インターネットでのPR展開のほか、健康情報誌、関連業界紙の活用、旅行会社との提携を進める。



カウンセリング



温浴法

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・スパリゾートハワイアンズと連携してフラダンスを健康増進に取り入れるほか、市内観光関連施設と連携を図り、健康・癒しに役立つ魅力的な商品(プログラム)づくりを行う。
- ・健康プログラムの開発にあたっては、いわき市の健康・福祉施設(いわき市健康福祉プラザ)と連携することとしている。



フラガール